

# Organ Design

Tetsuro Yoshitomi

# What ?

歯科技工士が患者と繋がるコミュニケーションツールの必要性

Organ Design

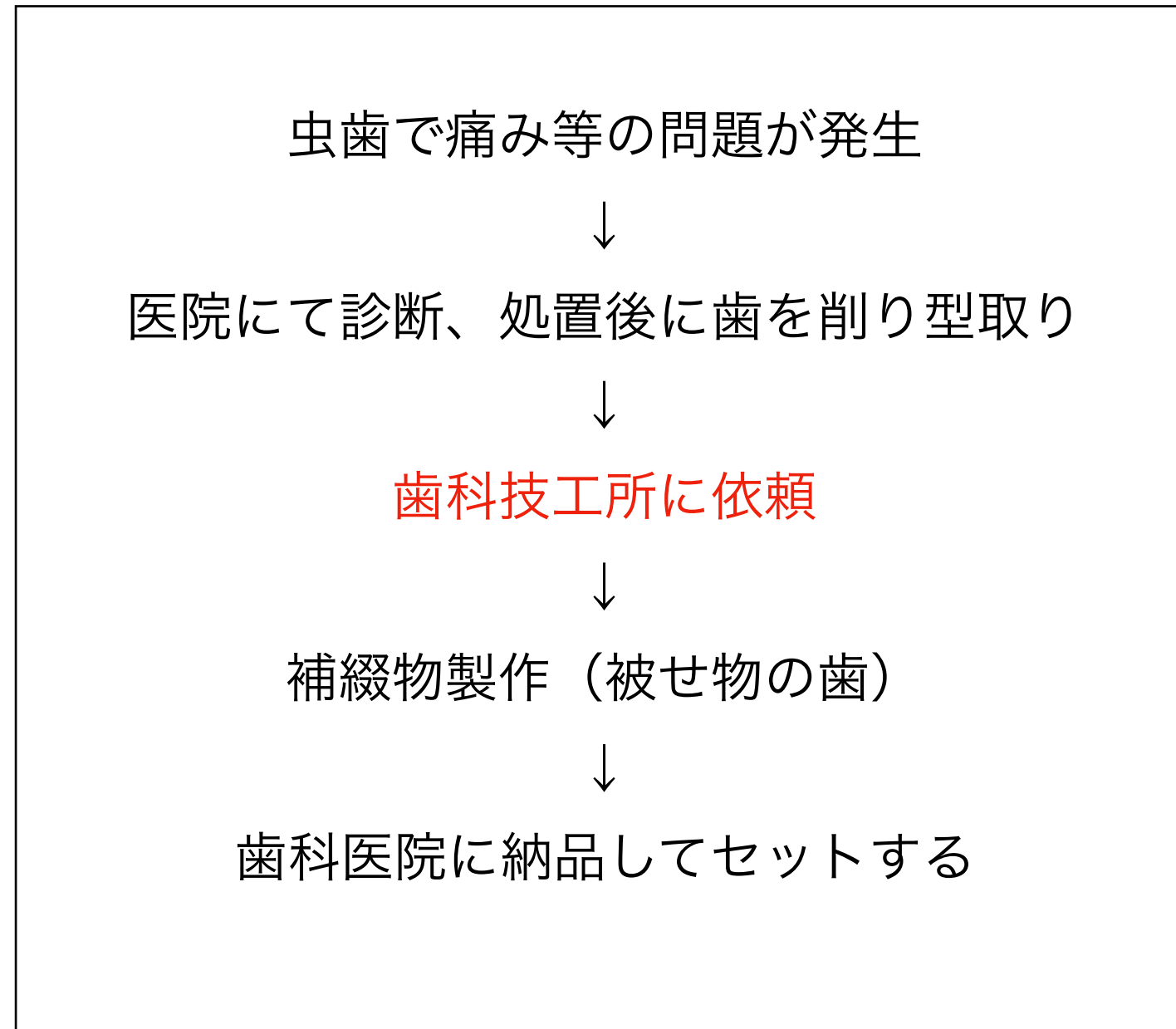
Tetsuro Yoshitomi

# 日本の歯科事情の現在

保険制度の恩恵により世界的にみても安価な負担で歯科治療が受けられる反面、日本の歯科医院数は約68,700件あり患者に対して供給過多の状態で安売り競争（その場しのぎの治療等）の問題が潜在的に存在している。

各歯科医院の経営状況は決して良いとは言えず、いかにコストカットをして多くの患者を回すかによって利益を上げざるおえなくなっている。

# 歯科治療の流れとして



# 日本の歯科治療の問題として

コストカットをして多くの患者を回さなければならない現状の中では、当然外注する被せ物の歯(以降補綴と呼ぶ) や入れ歯（デンチャー）は容赦無い価格競争が起こっている。

質より量を求めた結果、粗悪な補綴が横行してしまっており、本来健康の回復の為の治療であるはずが、安価で短期間の治療を求めた結果、その場しのぎの治療によってかえって悪化してしまうことも稀なことではない。

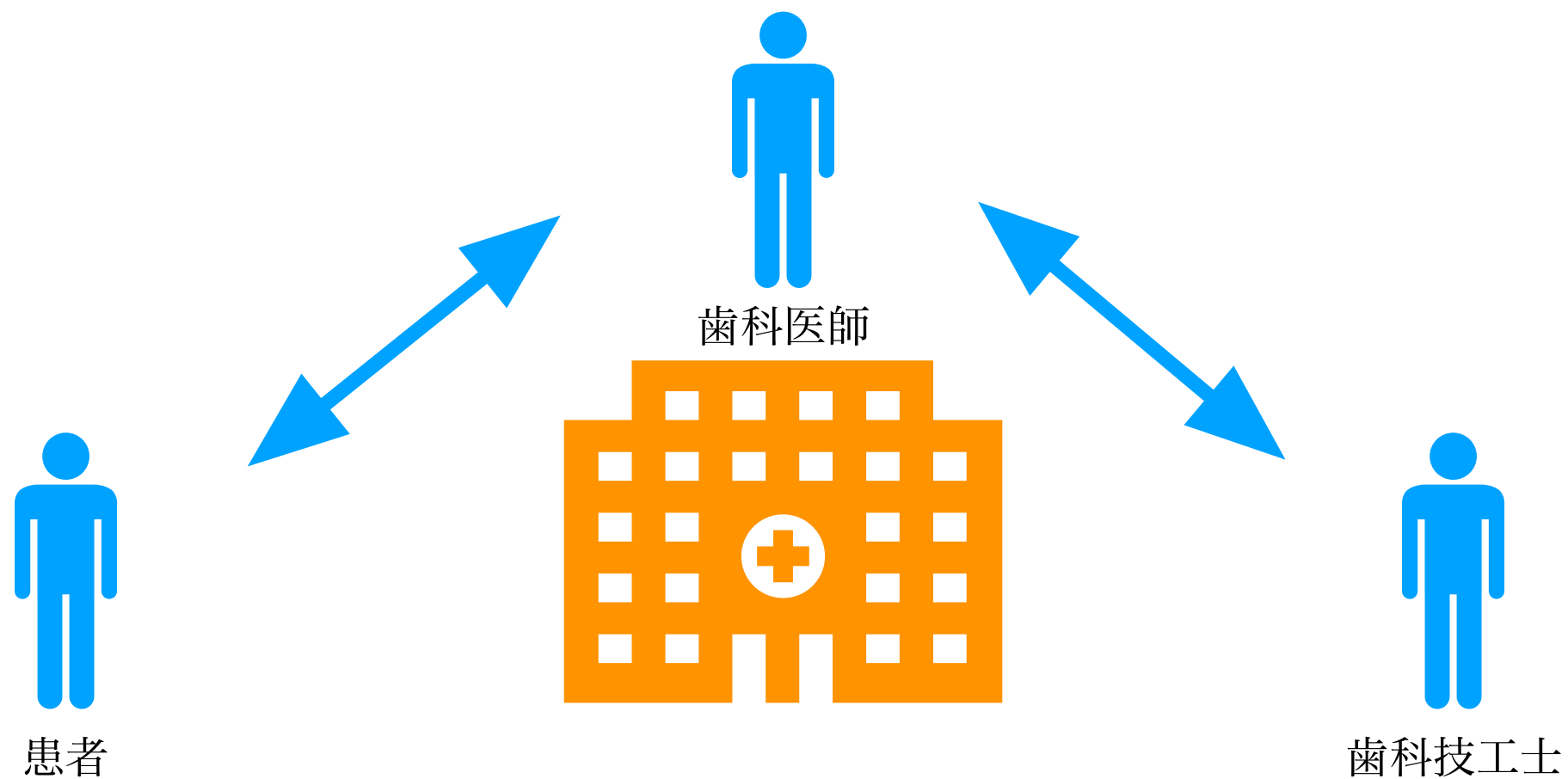
それを知らずに治療を受ける  
ことは大変恐ろしいこと

なぜなら、一度行った治療は  
元に戻すことは難しい

ミスコミュニケーションを  
起こさないためには



# 現在の歯科治療でのコミュニケーションのあり方



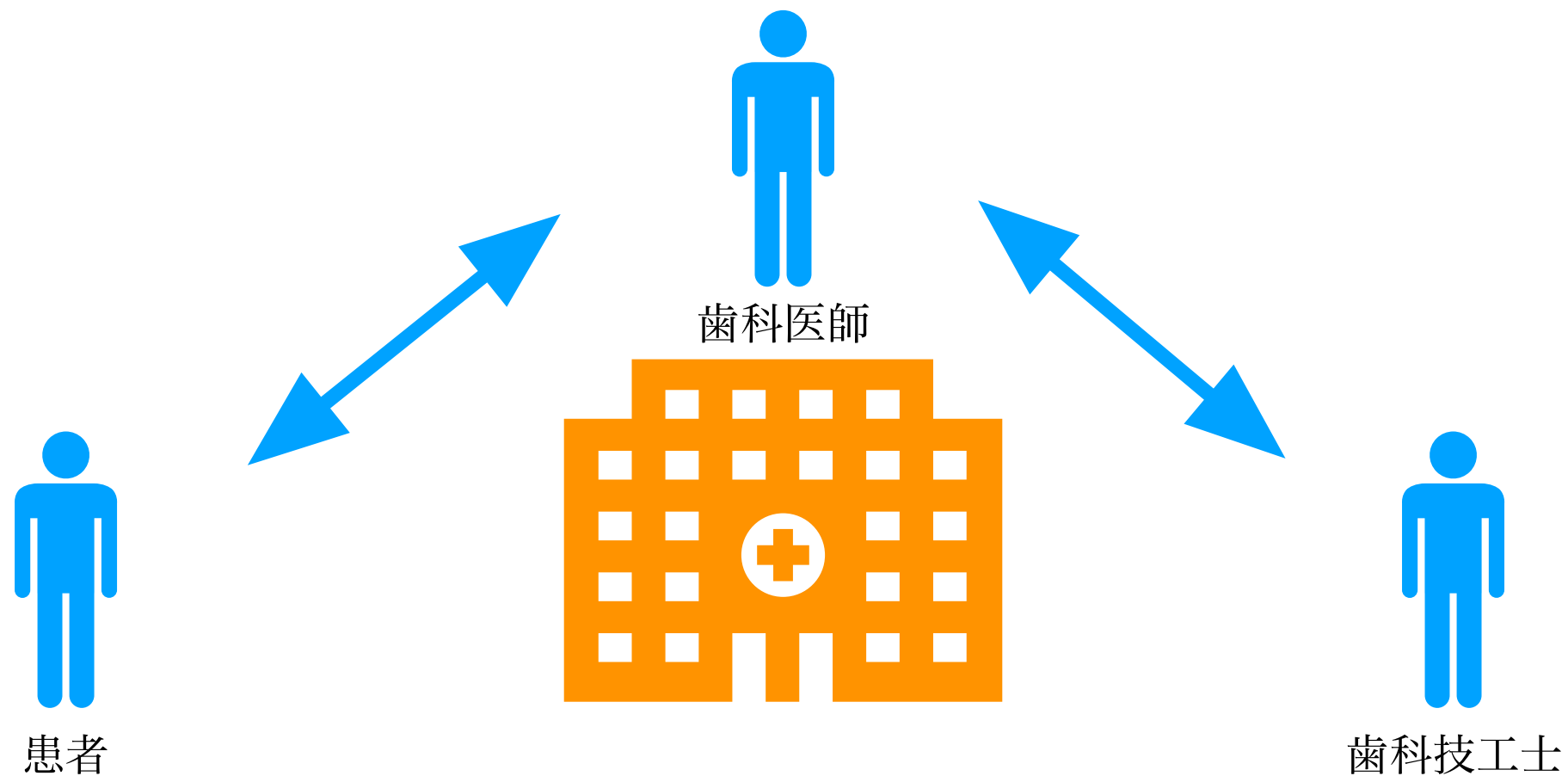
歯科医師を中心としている為、技工士サイドは  
患者の要望にあったサービスを提供できていないことがある

Organ Design

Tetsuro Yoshitomi

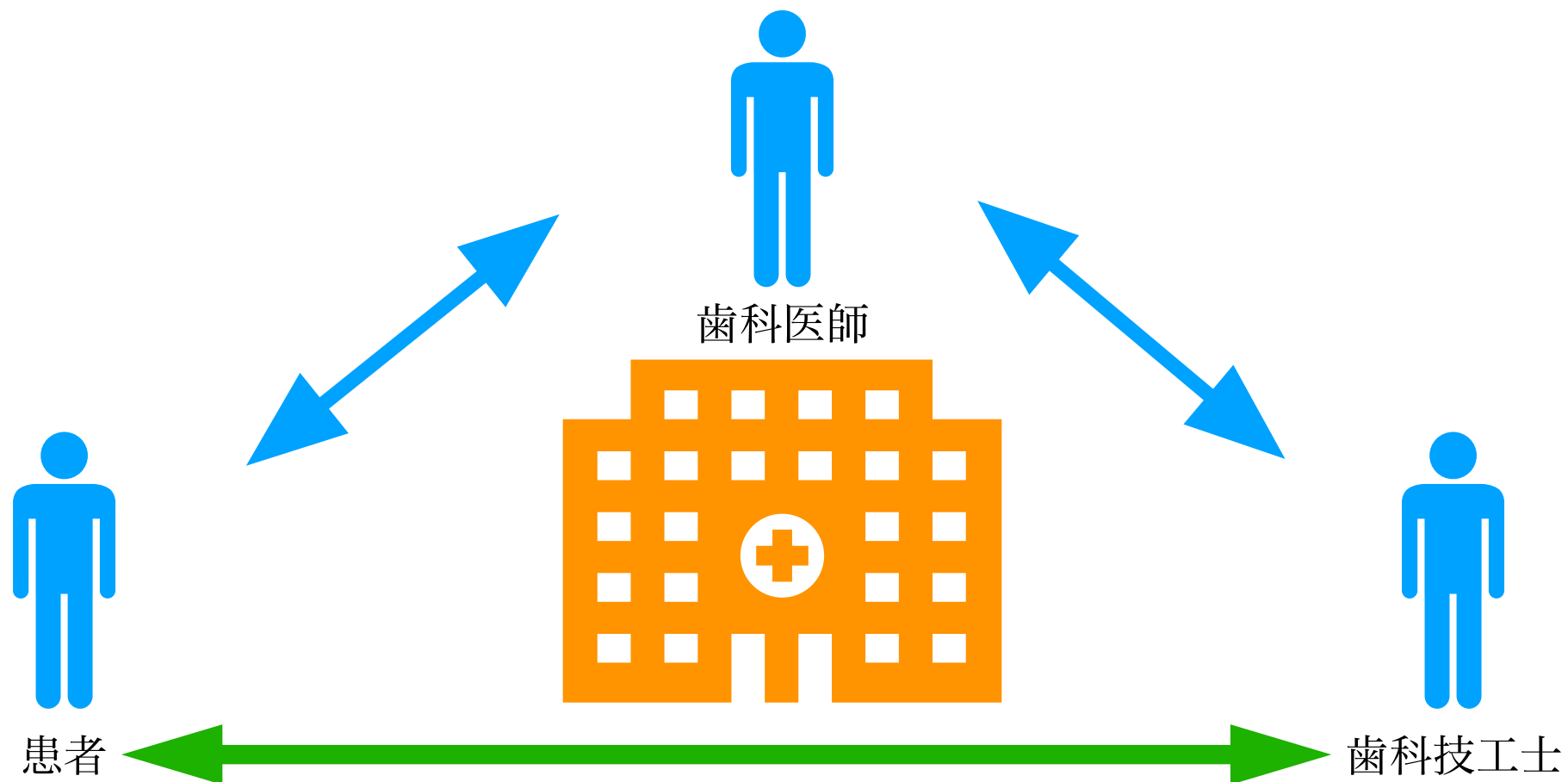
補綴に関してはそれを製作する技工士と直接話すことで解決できることも多いが、患者の要望は間接的にしか伝わってこない結果ズレが生じる

(その結果最悪の場合、再制作なども起こる)



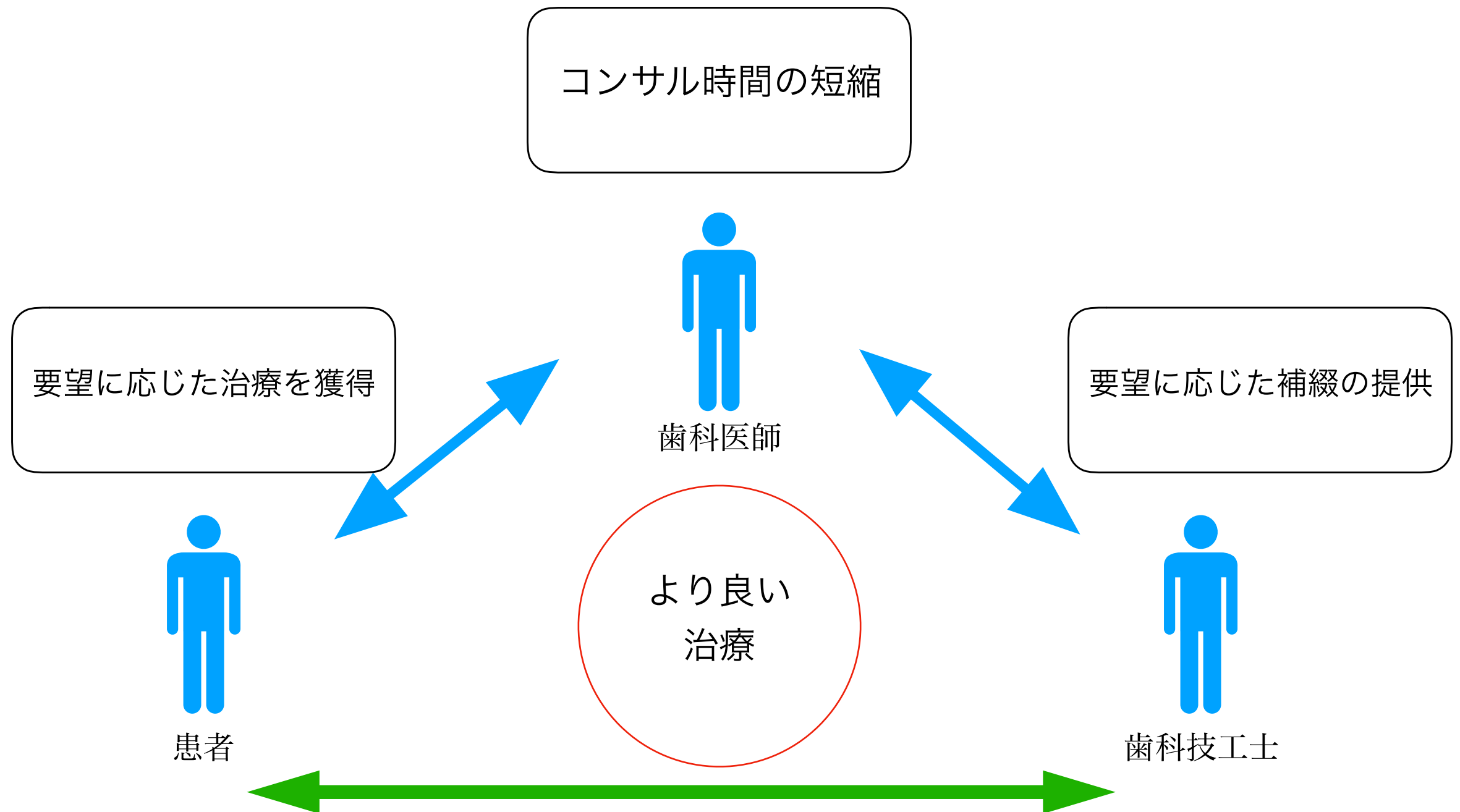
Organ Design

技工士と患者が繋がることでどういう素材を使って製作するのか、それによってどういうメリットとデメリットがあるかをしっかり伝えることで患者により良い選択肢を与えることができる



Organ Design

# 全体へのメリット



Organ Design

患者が技工士と話すことによって

補綴のメリットとデメリットを知る事で患者の  
選択肢（質、時間、費用）が変わる

技工士が情報を得ることによって

患者の要望（質、時間、費用）を知ること  
製作サイドが的確なサービスを提供できる

# How ?

ではどうやってそれを解決して行けばいいのか？

# How ?



歯科専用の Dental Talk アプリ

Organ Design

Tetsuro Yoshitomi



具体的には歯科専用のラインの  
様なappを想定しています

可能になること

たとえば…

情報の共有（写真や要望のやりとり）

自分自身の口腔内の現状を知ってもらう（噛み合せの問題や、今後のリスクなど）

補綴の種類と、メリットとデメリットが伝わる

患者データの収集ができる

これまで授業で習ってきた範囲  
で実現できそうなので。

まだ中途半端なところですが皆さんのご  
意見もお聞かせ頂けたらと思います

よろしくお願い致します！